## 仕 様 書

### │ エ 事 概 要

1 エ 事 場 所 長野県東筑摩郡朝日村大字古見1265

#### 2 建物概要

建物名称	工事種別	構造	階 数	延 面 積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考
給食棟	改修	RC	2階	*	(7)	
昇降口棟	改修	RC	1階	*	(7)	

## 3 工事種目 (〇印のついたものを適用する。)

		建	物別及	び屋外
工事種目	項目	給食棟	昇降口棟	校舎棟・他
電 灯 設 備		0	0	0
動力設備		0		
電熱設備		•		
雷保護設備				
受 変 電 設 備				
静止形電源設備				
発 電 設 備				
仮 設 工 事		•		
構内情報通信網設備		0		
構内交換設備		0		
情報表示設備		0	0	
映像・音響設備				
拡声設備		0	0	
誘導支援設備				
テレビ共同受信設備		0		
監視カメラ設備				
駐車場管制設備		•		
防犯・入退室管理設備		•		
自動火災報知設備		0	0	0
自動閉鎖設備		0	0	
非常警報設備		•		
ガス漏れ警報設備		0	•	•
中央監視制御設備		•	•	•
		•	•	•
構内配電線路		•		
構内通信線路		•		
昇降機設備		•		
排水路ヒータ設備		0	0	

## 4 図面目録

4 <u>×</u>			
番号	図 面 名 称	番号	図 面 名 称
1	電気設備 特記仕様書	2 1	1階 弱電設備図【撤去】
2	照明器具姿図【改修】	22	給食室詳細 弱電設備図【撤去】
3	動力・電灯盤回路図(参考)【改修・撤去】	23	2階 弱電設備図【撤去】
4	1階 電灯設備図【改修】	2 4	排水路ヒータ設備図【撤去】
5	給食室詳細 電灯設備図【改修】	2 5	
6	2階 電灯設備図【改修】	2 6	
7	1階 動力・コンセント設備図【改修】	2 7	
8	給食室詳細 動力・コンセント設備図【改修】	28	
9	1階 弱電設備図【改修】	29	
10	給食室詳細 弱電設備図【改修】	30	
11	2階 弱電設備図【改修】	3 1	
12	排水路ヒータ設備図【改修】	3 2	
13	1階 誘導標識設置図【改修】	3 3	
14	2階 誘導標識設置図【改修】	3 4	
15	管理・特別教室棟1階電灯盤【改修・撤去】	3 5	
16	1階 電灯設備図【撤去】	3 6	
17	給食室詳細 電灯設備図【撤去】	3 7	
18	2階 電灯設備図【撤去】	38	
19	1階 動力・コンセント設備図【撤去】	3 9	
20	給食室詳細 動力・コンセント設備図【撤去】	40	

# Ⅱ 工事仕様

# 1 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準 仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築改修工事標準 仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工 事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「標準図」という。)による。
- (2)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用

### 2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

T面 ロ		
項目		特記事項
機材等		材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。
の機材の日質・桝鉄証明		ものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業
2)機材の品質・性能証明		ス・公共建業協会が発行する「建業材料・設備機材等明貝性能計画事業 によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び
		となる資料の提出を省略することができる。
3 化学物質を発散する	本工事の建物内部に使用	する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有する
建築材料等	ものとし、次の(1)か	ら(5)を満たすものとする。
	(1) 合板、木質系フロー!	リング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクル
	ボード、その他の木質	建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを
	放散しないか、放散が	極めて少ないものとする。
		熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて
	少ないものとする。	
		- n - ブチル及びフタル酸ジー 2 - エチルヘキシルを含有しない難 し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを
		極めて少ないものとする。
		こド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が
	極めて少ないものとす	
	(5)上記(1)、(3)及び(4)	の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他
	の什器等は、ホルムア	ルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
	なお、ホルムアルデヒド	を放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデ
	ヒドの放散が極めて少な	いものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外の
	ものを使用するものとす	<b>る</b> 。
		がない場合は、第三種のものを使用するものとする。
		ドの放散量」は、次のとおりとする。
	ホルムアルデヒドの放散量 	世 該 当 す る 建 築 材 料  ① JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品
		②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
		③下記表示のあるJAS規格品
		a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
	規制 対象外	b 接着剤等不使用
		c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散
		させない材料使用
		d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
		e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散
		させない塗料使用
		f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散
		させない塗料等使用
	₩ <b>-</b> 15	①JIS及びJASの F☆☆☆規格品
	第三種	②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 3 旧JISのE〇規格品
		④ 旧 JASの F ○ ○ 規格 品
4 施工条件明示項目	<ul><li>公共建築工事積算基準</li></ul>	の解説(設備工事編)の「執務並行改修」
5 電気保安技術者	電気事業法に定める自家	用電気工作物に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、
	電気工作物の保安の業務	を行うものとする。
6 電気工事士	契約電力 5 0 0 k W 以上	の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。
7 実施工程表及び	(1) 実施工程表、総合施工	計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。
施工計画書	(2) エ種別の施工計画書は	:、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は
O ++ - + + + + + - + +	監督職員の承諾を受け	
8)使用材料発注先調書		、発注先等を記載した調書を作成し提出する。
9) 発生材の処理	(1) 引渡しを要するもの以	<ul><li>⊙無 ・有 (仮設分電盤 )</li><li>外 ○構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。</li></ul>
	(3)特別管理産業廃棄物	
	(4)再利用又は再資源化を	
	⊙ 無 ・有(・コン	クリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類 )
10 監督員事務所	・設けない ・設ける	(規模: )
	・備品(	)
11) 工事用仮設物	すべて請負者の負担とす	<b>న</b> .
	構内に作ることが	・できる・できない
12 足場・さん橋類	⊙ 別契約の関係請負者が	定置したものは、無償で使用できる。
	・本工事で設置する。	
	・内部仮設足場等(・架	台足場 · 移動式足場 · 移動式室内足場 · )
0		種 ・B種 ・C種 ・D種 ) ・防護シート ( )
③ 工事用電力・水・その他		カ、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に
	要する費用は請負者の負	
14)工事写真		影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。
15 しゅんエ時提出物	標準仕様書及び別表により	
16 再使用機器		則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 用に耐えない場合は、監督職員に報告する。
17) 耐震施工		新に 間えない 物口は、 血自物質に 取口 りる。 築設備耐震設計・施工指針 2 0 1 4 版 (国土交通省国土技術
		政法人建築研究所監修)」による。なお、施工に際し、耐震
		出し、承諾を受けるものとする。
	(1)設計用水平地震力	
	機器の重量[kgf]	]に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。

項    目		特	記	事	項	
	設計用標準水	平地震度				
	設置場所	機器種別	特定 重要機器	の施設	一般 <i>0</i> 重要機器	)施 設 一 般 機 器
	上層階、	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	屋上及び塔屋	防振支持の機器 水槽類(※1)	2.0	2.0	2.0	1.5
		機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
		水槽類(※ 1)   機 器	1.5	0.6	0.6	0.6
	地下・1 階	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
		水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
	(※1)水槽類	[にはオイルタンク	等を含む。			
	◎重要機器の	定義は次による。				
		備・発電設備			流無停電電源	麦置
		• 自動火災報知受	:信機・中	央監視装置	•	
	◎上層階の定		- 0 PH 74 0 H	ᆿᄼᄔᆝᄝᇰᄜ	k	
		の場合は最上階、				
		階建の場合は上層:	3 階、 1 3 階 1	以上の場合は上	: 僧 4 階 と す る	0
	(2)設計用鉛直:	呕 辰 刀 ∴震 力 の 1 / 2 と し 、	사고싸를 누니	・目時に働くま	のトナス	
18 あと施エアンカー		、辰刀の T / Z と C 、 は 公 共 建 築 改 修 工 引				A 乃 が 1 0 倍 /-
10 めと旭エアング		機器類は建築工事改			0 平 07 2 別 0. 2.	4% O. 10 B) IC
		試験を ・ 実施す				
19) 防火区画等の		《区画又は防火上主			うの施工状況に	ついて、
貫 通 処 理		」から写真撮影し、.				
20 電線・ケーブル		は紫外線による劣化			「タイシカ゛イセン	ے ر EM-EEF
	表記された	ものを使用する。				
	(2) EM-UTP (3	は JIS X 5150「構」	内情報配線シ	ステム」に準	じ、絶縁材料に	及びシースに
	JIS規格に	よるEMケーブルの耐	燃 性 ポ リ エ チ	レンを用いた	もの。	
21 予 備 配 管	埋込分電盤から	の立上り予備配管	は、予備の配	線用遮断器 4 個	固以下の場合は	に(25)を1本
	5 個以上の場合	は(25)を2本、天	井まで立上げ	る。		
22 呼 び 線	長さ 1 m以上の	入線しない電線管に	こは、1.2mm	以上のビニルネ	被覆鉄線を挿入	、する。
23 金属製電線管の塗装	下記の露出配管	は塗装を行う。				
	・屋外	・屋内(				)
24 埋め戻し土	• 種別 • A 種	· B種 · (	D 種 · D 程	<u> </u>		
	・管の下部は50	Omm以上砂を敷きな	らし、管の上れ	鄒100mm以上砂	を用いて締め	固める
25 建設発生土の処理	• 場外搬出処理	・構内の指気	定場所に敷きぬ	l		
26 ケーブル埋設票	(1) 地中線路	には、ケーブル埋割	と票 をもうける	• 欽	失製 ・コ	ンクリート製
	(2) 低圧地中	配線にあっても地中	口線埋設標識シ	ートを敷設す	る。	
		幅が750mmを超える				
27 プルボックス		プルボックスの本体				とする。
		プルボックスのふた				*
28 フラッシュプレート		らもの及び特殊なも		•金属製		
29 プレートの用途表示		ジョイントボック	ス及び機器を	実装しないプレ	vートには、用	途を明示
O 44	した略標をつけ					
30 配 線 器 具		チは連用形とする。				A
		ント (2P15A) は原則			- ,	合は複式を
31) フロアコンセント		また(2P15A)以外(				
31) フロアコンセント		止め)型上下式(・ 止め)型垂直上下式			<b>د</b> ۹ ۵	
32 機器への接続		エの)。空垂直エド式 l御盤より別途電動:			ミレナス	
33 照 度 測 定		明の照度測定は設置				
		30 点及 別 た は 設 直 こお け る 室 内 照 度 測				: 個所)
		照度は、1教室当た				
34盤 類		の図面ホルダーに、				
	収納する。		120 TH 120 H	10 10 10 10 10 10	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	
		は、線番表・結線表	を備え付ける	٥		
35 グリーン購入の推進	長野県グリーン	購入推進方針に基づ	づく調達項目			
	<資材>・照	明制御システム	・変圧器	• (		)
	<建設機器>	・ 排 出 ガ ス 対 策 型 頭	建設機器 ・ 仮	£騒音型建設機	器	
36 他工事又は他工種	工事区分表(平	成 年版)による。	ただしこれに	こより難い場合	は監督職員と	協議する。
との取り合い						
37 その他及び電子納品	保険等の各種措	i 置及び電子納品に	ついては、別沒	氐 「特記仕様書	書(共通事項)」	による。
	(長野県公式ホー	- ムページ (電子入札	,システム)にキ	曷載される、当	当該入札公告の	添付図書)
/ DJ	-+ +=	/ I= 0.55 a		o + += +		
(別表) しゅんエ	時 提 出 物	(・に〇印の	ついたも	ルを提出す	る。)	
個 別 技	是 出	物	_	括 提	出	物
1 完成図		5	機器完成	Z .		
<ul><li>● 原図(A1版、A</li></ul>	3版 ケース入		工事写真			
⊙ 陽画(A2 2つ	折り製本 1部)		完成写真			
<ul><li>マイクロフィルム</li></ul>		8			簿、工事日誌	、協議書)
(アパーチュアカ	コード貼付 台紙	は黄色) 9	機材の試験	<b>倹成績書</b>		
O 04D= 4		1 (1)	佐ての計画	全世生士		

個別提出物		一 括 提 出 物
1 完成図	5	機器完成図
⊙ 原図 (A1版、A3版 ケース入り)	6	工事写真
<ul><li>○ 陽画(A2 2つ折り製本 1部)</li></ul>	7	完成写真
・マイクロフィルム	8	工事記録 (打合せ簿、工事日誌、協議書)
(アパーチュアカード貼付 台紙は黄色)	9	機材の試験成績書
<ul><li>⊙ CAD データ</li></ul>	10	施工の試験成績書
	11	社内試験成績書
2 設計図	12	発生材処理報告書
・ マイクロフィルム		(廃棄物処理実施書・運搬及び処理の委託契約:
(アパーチュアカード貼付 台紙は青色)		の写し・マニフェストの写し、フロー図)
3 引渡書	13	納入品一覧表
(4) 納入品	14	官公署手続、検査書(管理者用正本、写し)

#### 3 ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。) ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。) ・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。 ・ブロックの仕様は国土交通省仕様に準ずるものとする。

•	ハンドホール	1、500×1、500×1、500D	底部 GL-1、740以上
	No	蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(アルミ梯子付)
•	ハンドホール No	1、200×1、200×1、500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	
	ハンドホール	1、000×1、000×1、400D	底部 GL-1、600以上
	No	蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(アルミ梯子付)
•	ハンドホール	1、000×1、000×1、100D	底部 GL-1、300以上
	No	蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(アルミ梯子付)
•	ハンドホール	1、000×1、000× 900D	底部 GL-1、060以上
	No	蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(アルミ梯子付)
	ハンドホール	900× 900×1、100D	底部 GL-1、260以上
	No	蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(アルミ梯子付)
•	ハンドホール	900× 900× 900D	底部 GL-1、060以上
	No	蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(既製足場付)
	ハンドホール No	600× 600× 680D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(既製足場付)
•	ハンドホール	450× 450× 680D	※植栽帯等車両の通行の恐れがない場所、
	No	蓋 WPM-45B (Eマーク入)	収容ケーブルが少ない場所に限る

### 4 接 地 極

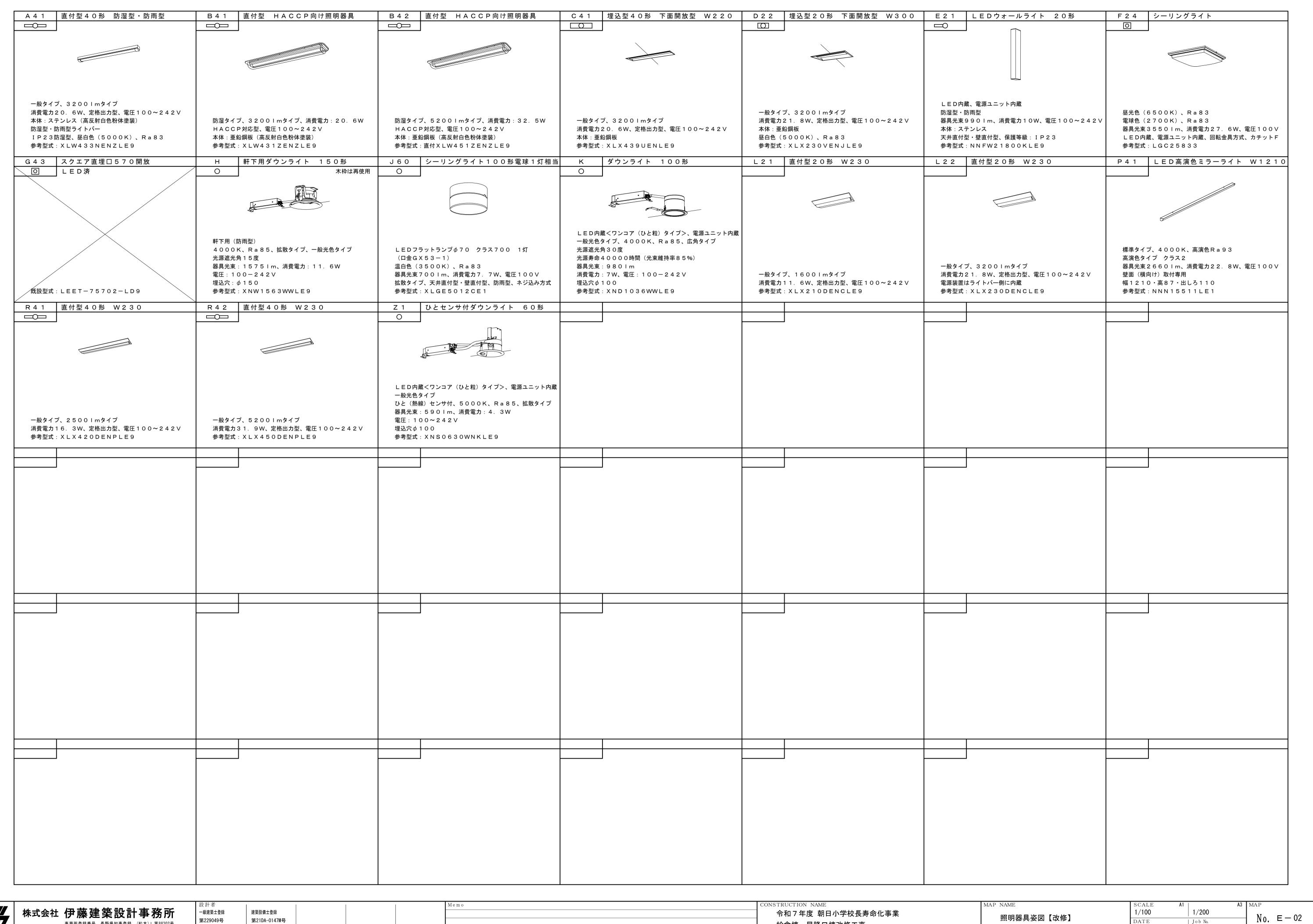
下	表による。ただし、	これによりがたい場合は監督員との協議による。
	A 種 接 地	銅板1.5 t×900×900 補助接地棒(連結式10 φ×1、500) リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2m 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
	B種接地	銅板1.5 t×600×600 補助接地棒(連結式10 φ×1、500) リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2m 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
	C種接地	銅板1.5 t×300×300 補助接地棒(連結式10 φ×1、500) リード端子付 堀削埋戻中心深さ1.5m 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
	D 種 接 地	接地棒(10φ×1、500) リード端子付 打ち込み式 埋設標(黄銅製又はステンレス製)

### 5 機器取付高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名称	測点	取付高(mm)		名 称	測点	取付高(mm)
<b>通</b>	取引用計器引込開閉器警報盤	地床上~中心 床上~中心	1,800	時計·拡声	壁掛形親時計 子時計 ─壁掛形スピーカー アッテネーター	床上~中心	1,500 (上端1,900以下) (天井高)×0.9 (天井高)×0.9 1,300
電	タンブラスイッチ " (身障者用) コンセント(一般) " (和室) " (便所等) " (台上) ブラケット(一般)	""" "" 台上~中心	(上端1,900以下) 1,300 1,100 300 150 500 150 2,100	表示	表示盤 壁付発信器 ベル ブザー 押ボタン ッ(身障者用押釦 身障者用表示灯	床上~中心 " " " " "	(天井高)×0.9 1,300 (天井高)×0.9 (天井高)×0.9 1,300 900 2,000
灯	ックラット(一般) ッ (踊場) ッ (鏡上) 避難口誘導灯 廊下通路誘導灯	" 鏡端~中心 床上~下端 床上~上端	2,500 150 1,500以上 1,000以下	インター	復帰ボタン  壁付インターホン  (身障者用) 壁付位置ボックス  (壁付インターホンを除く)	床上~中心	1,800 1,500 1,100
動	壁掛形制御盤手元開閉器	床上~中心	1,500 (上端1,900以下) 1,500	ホン	" (一般)	# #	300 150
カ	操作スイッチ 押ボタン	"	1,300	テレビ共同	機器収容箱アウトレット	床上~中心	(天井高)×0.9
電	室内端子盤 (廊下・室内) 中間端子盤	床上~下端床上~中心		一一一一一	<ul><li>(一般)</li><li>(和室)</li></ul>	"	300 150
話	(EPS・電気室) 集合保安器箱 壁付アウトレット ボックス(一般) " (和室)	// //	(天 井 高) × 0.9 300 150	火災報知	受信機 副受信機 機信容箱 発信 ボル バ火栓表示灯	床上~操作部 " 床上~中心 "	800~1,500 800~1,500 800~1,500 800~1,500 (天井高)×0.9 (天井高)×0.8

株式会社 伊藤建築設計事務所 事務所登録番号 長野県知事登録 (松本) L 第88302号 管理建築士 -級建築士登録 第204015号 伊藤 公績    設計者   一級建築土登録   第21DA-0147M号   第21DA-0147M号	CONSTRUCTION NAME           令和7年度 朝日小学校長寿命化事業           給食棟・昇降口棟改修工事	MAP NAME 電気設備 特記仕様書	SCALE   NS   1/200   DATE   Job No.   23-045	$\frac{\text{MAP}}{\text{No. E}-01}$





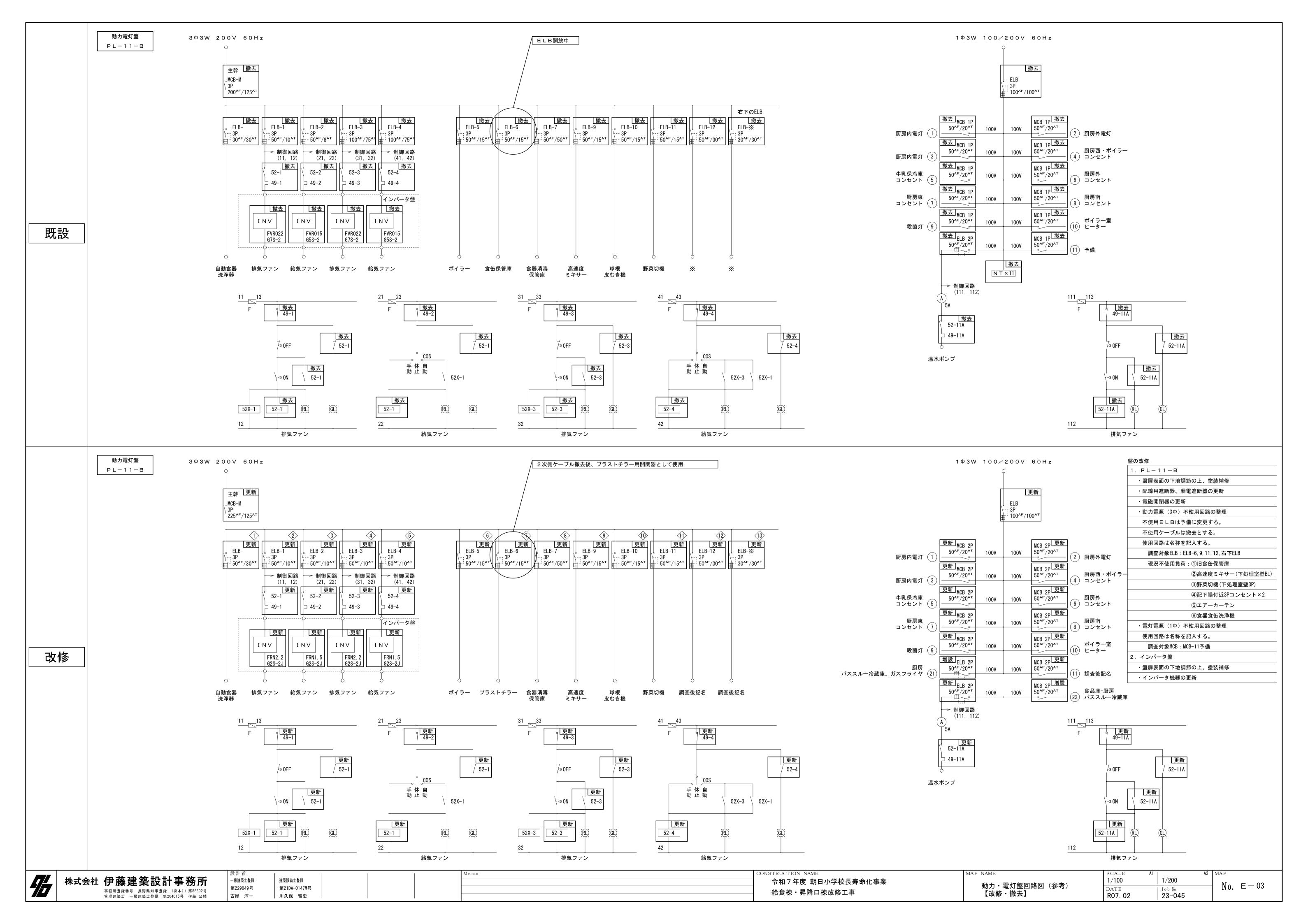
第229049号 古屋 淳一

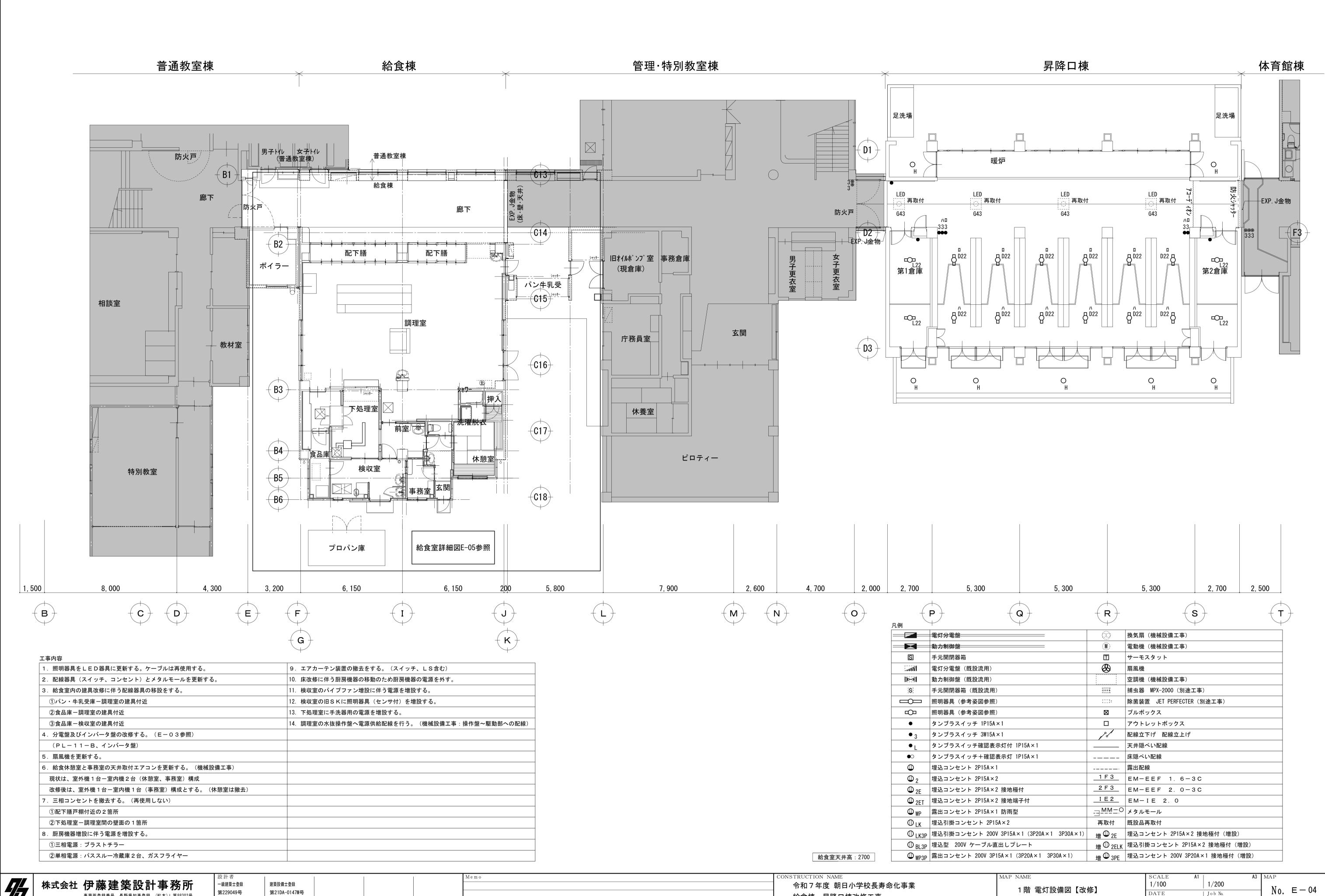
第21DA-0147M号 川久保 雅史

給食棟・昇降口棟改修工事

照明器具姿図【改修】

Job No. 23-045 R07. 02

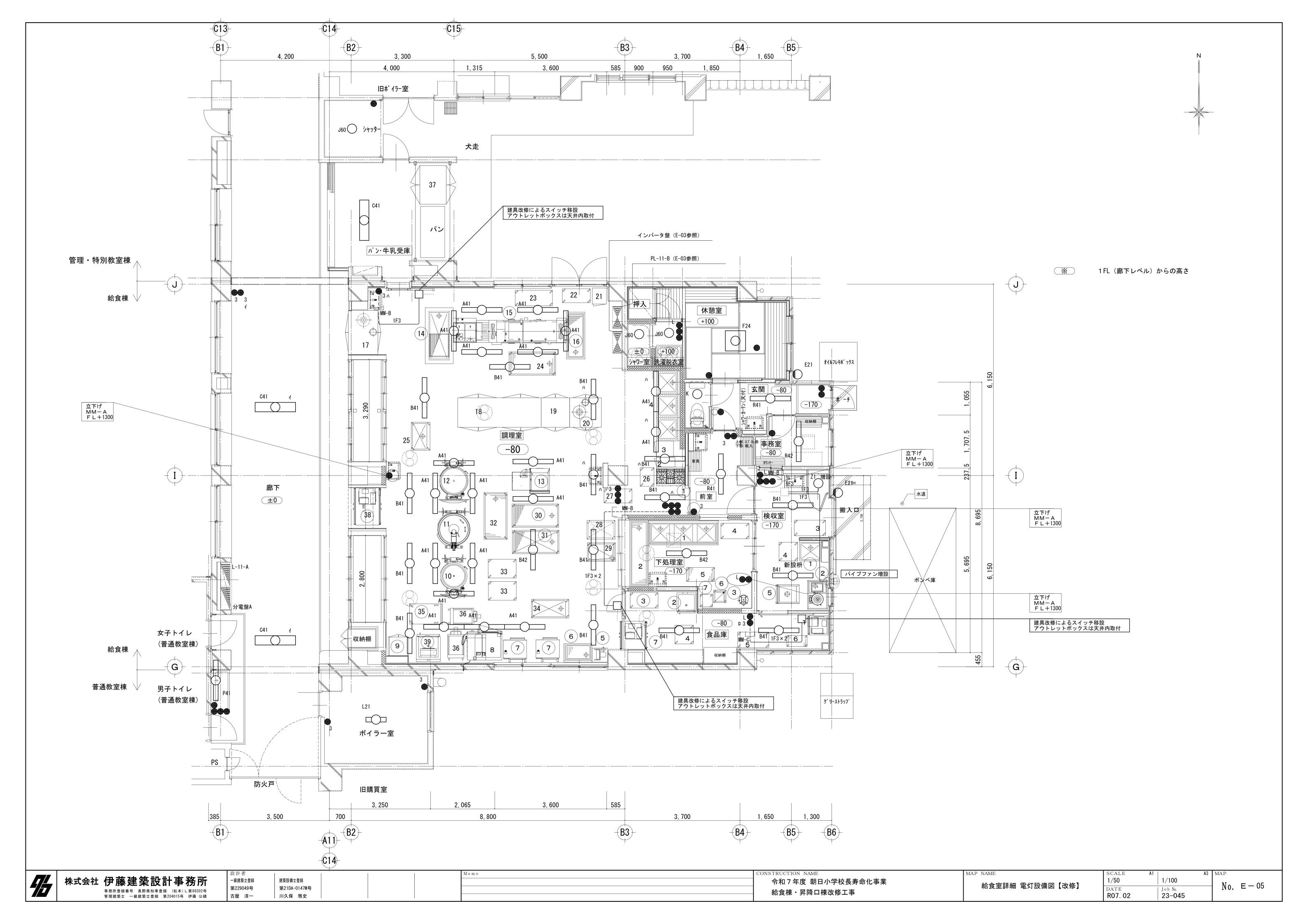


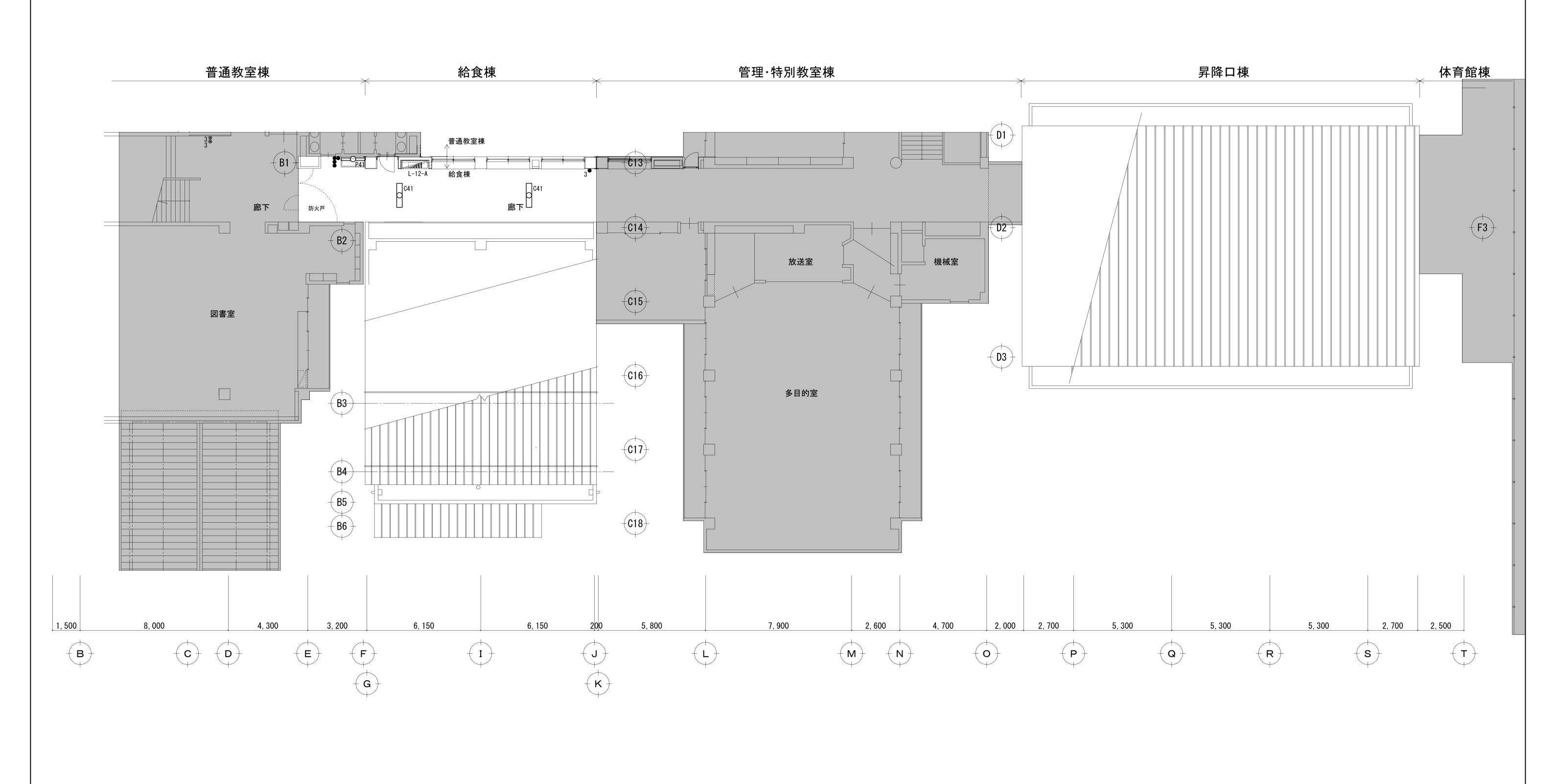


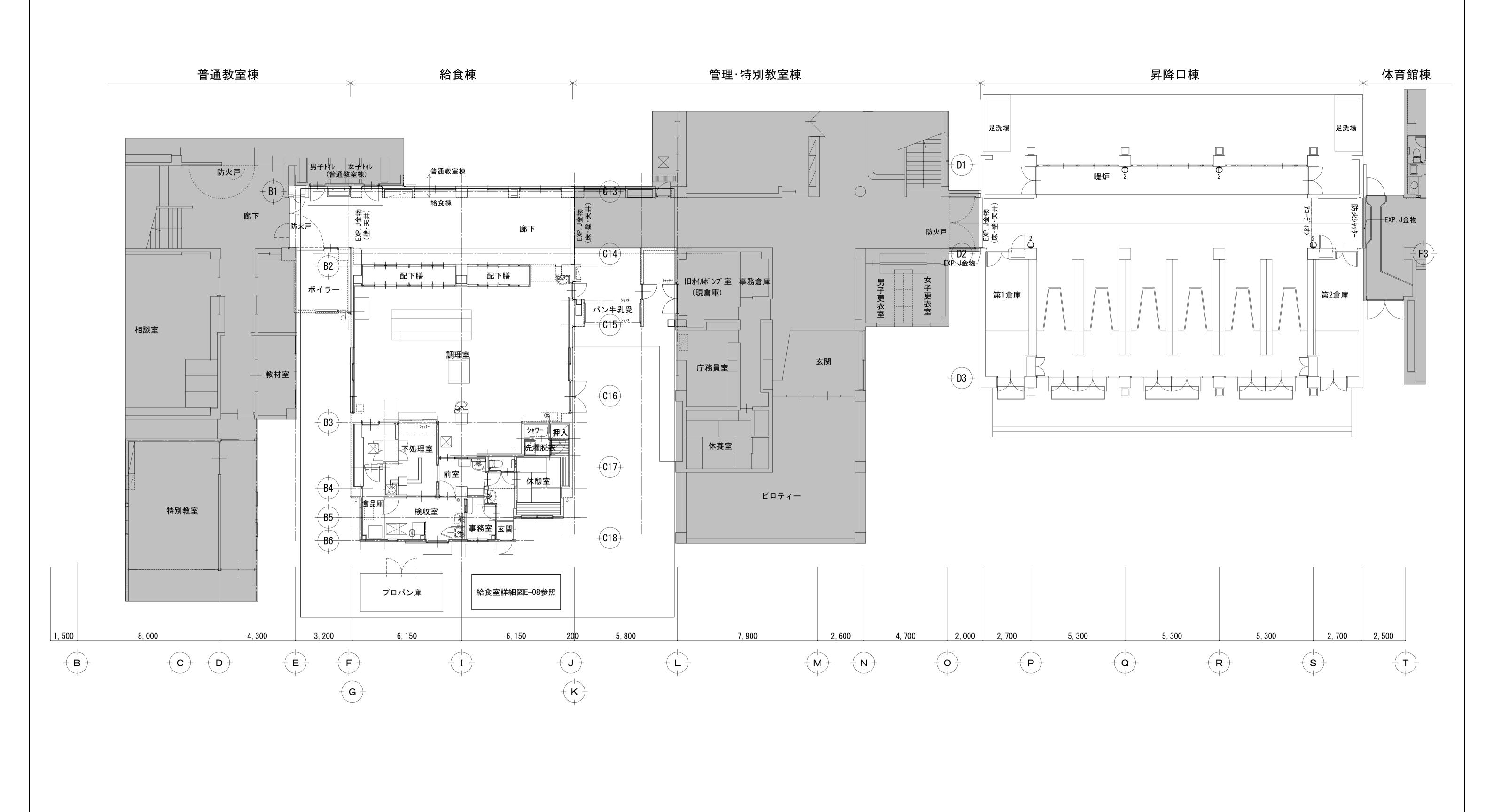
第229049号 古屋 淳一 川久保 雅史 給食棟・昇降口棟改修工事

1階 電灯設備図【改修】

Job No. 23-045 R07. 02







給食室天井高:2700

株式会社 伊藤建築設計事務所 事務所登録番号 長野県知事登録 (松本) L 第88302号 管理建築士 一級建築士登録 第204015号 伊藤 公績

 一級建築士登録
 建築設備士登録

 第229049号
 第21DA-0147M号

 古屋
 河人保

 CONSTRUCTION NAME

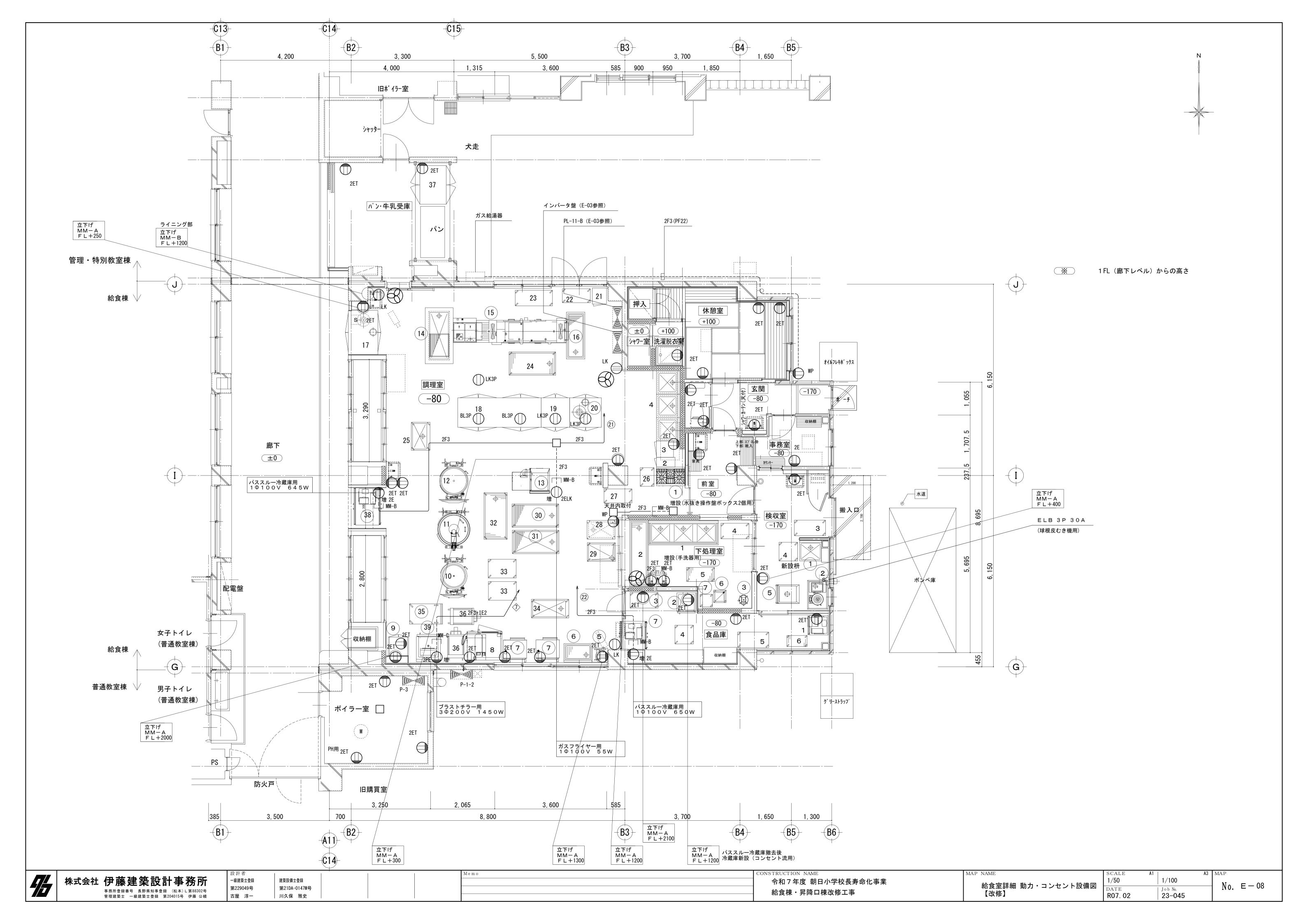
 令和7年度 朝日小学校長寿命化事業

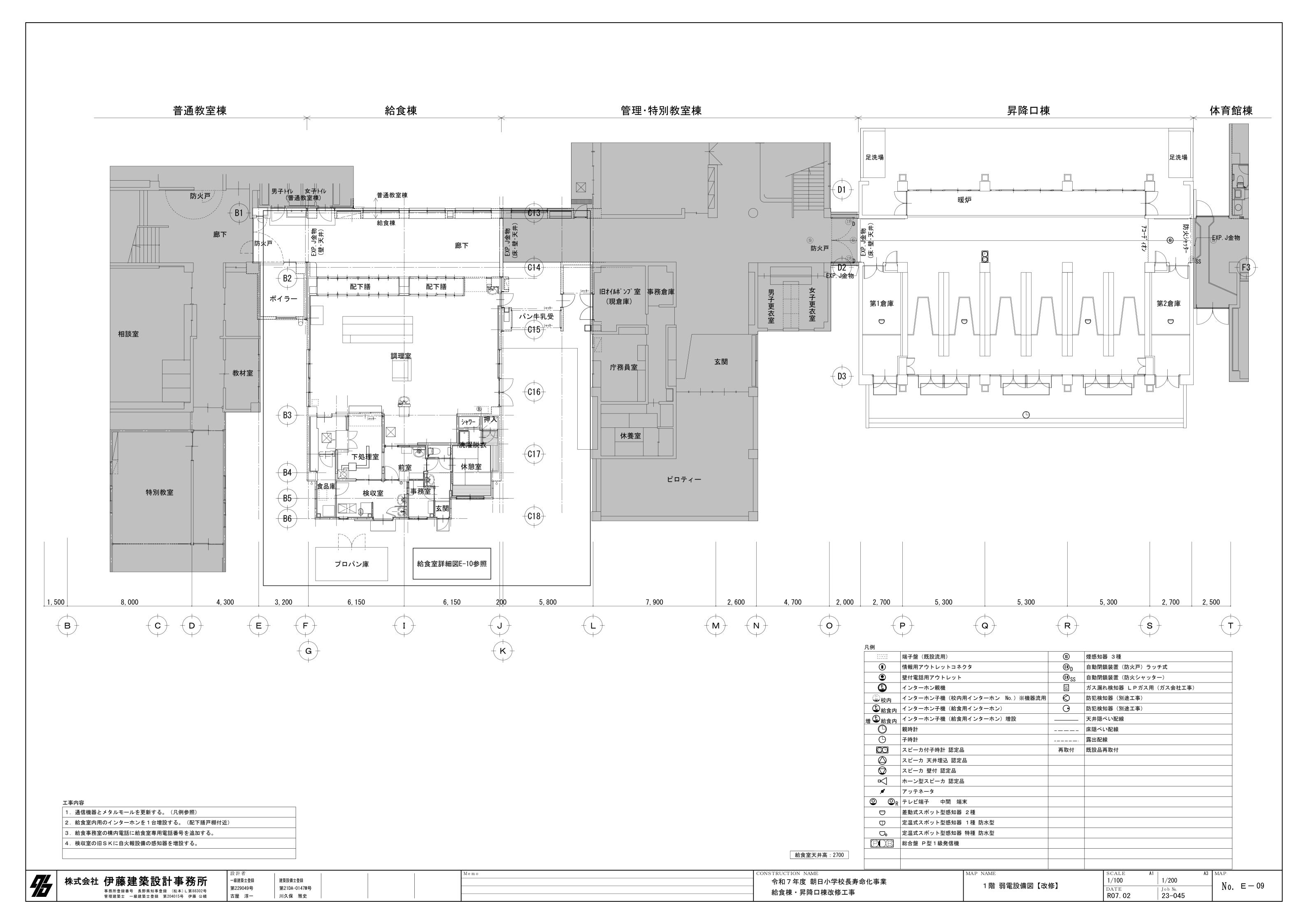
 給食棟・昇降口棟改修工事

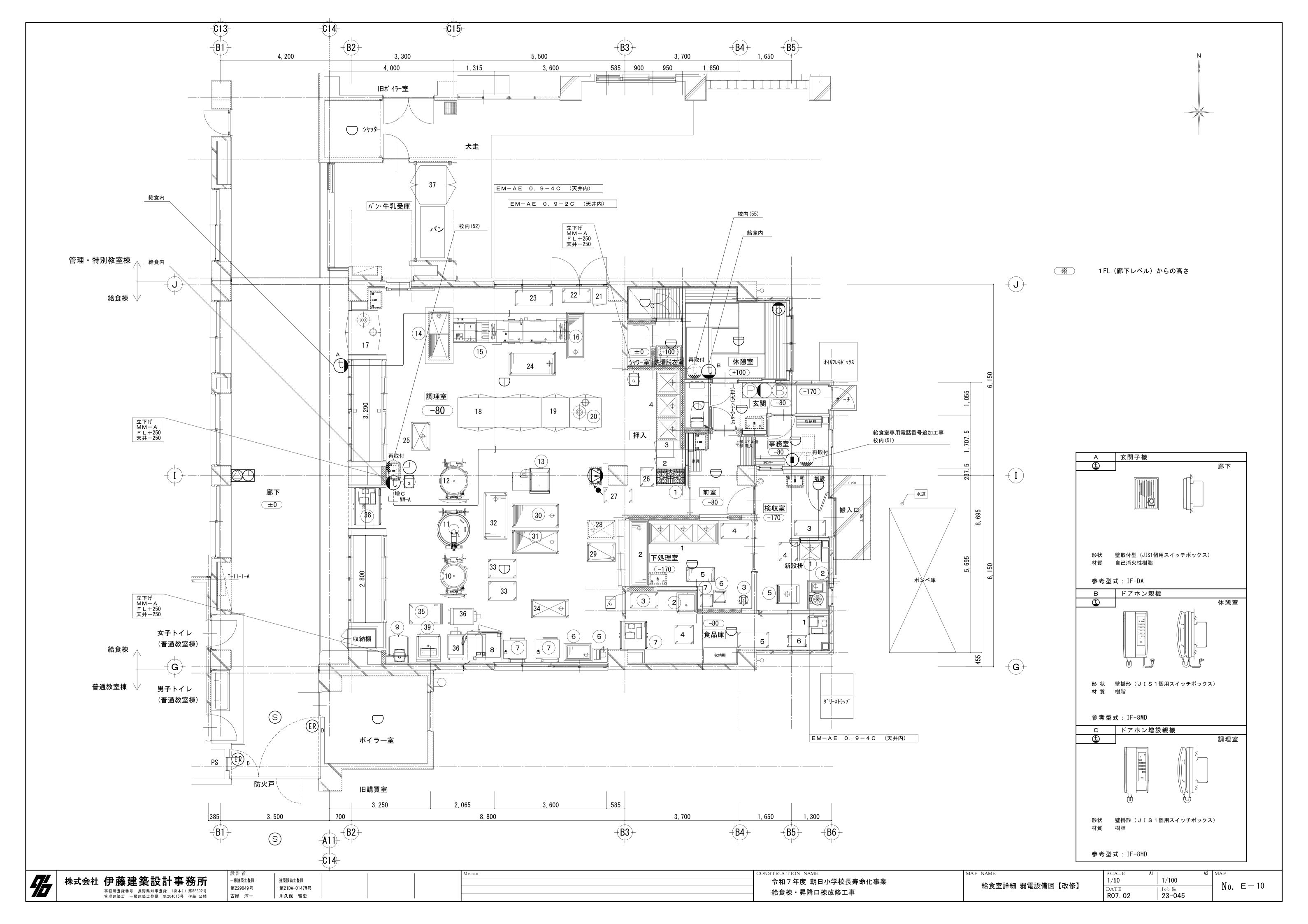
MAP NAME

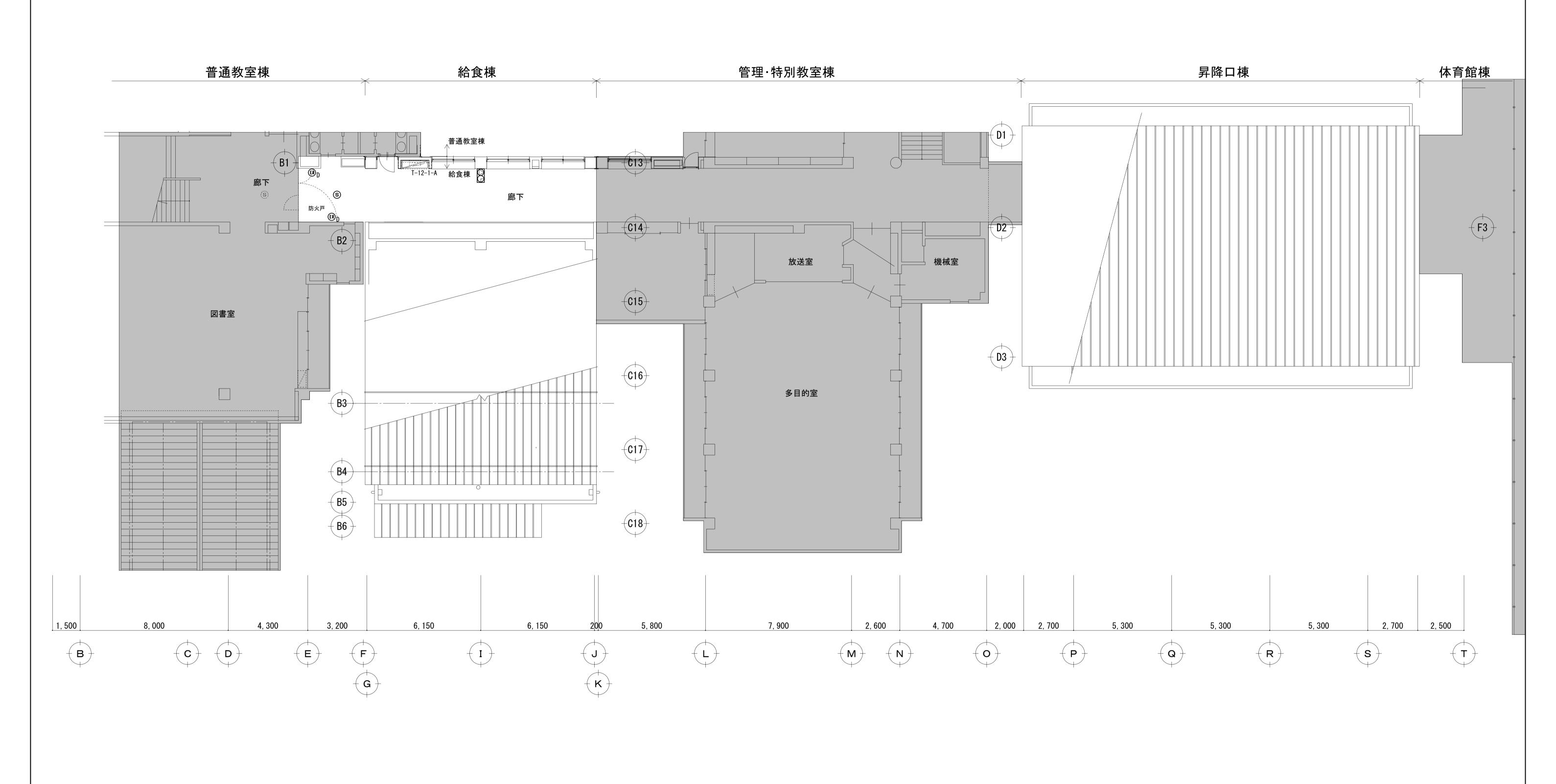
1階 動力・コンセント設備図【改修】

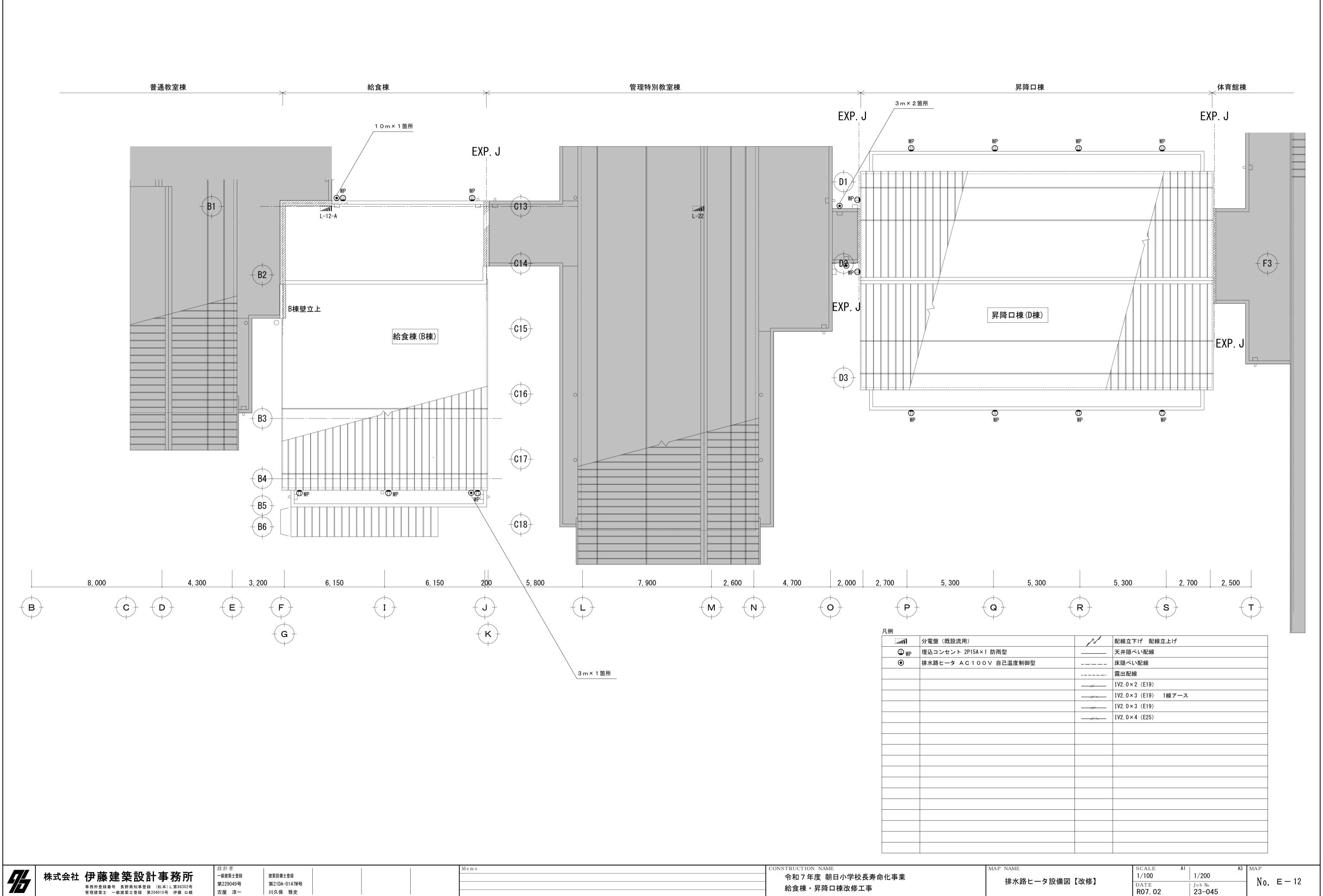
DATE
R07. 02







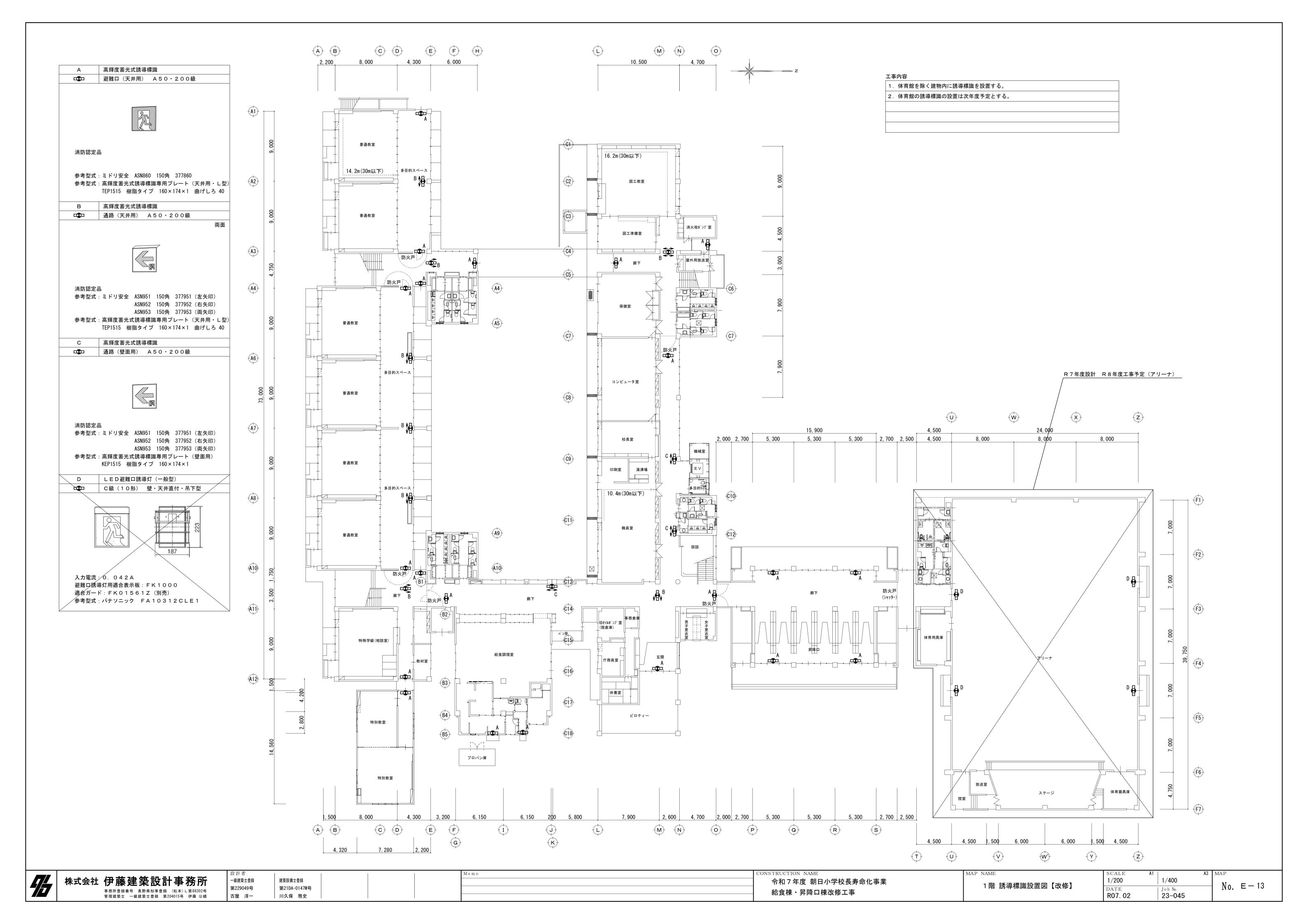


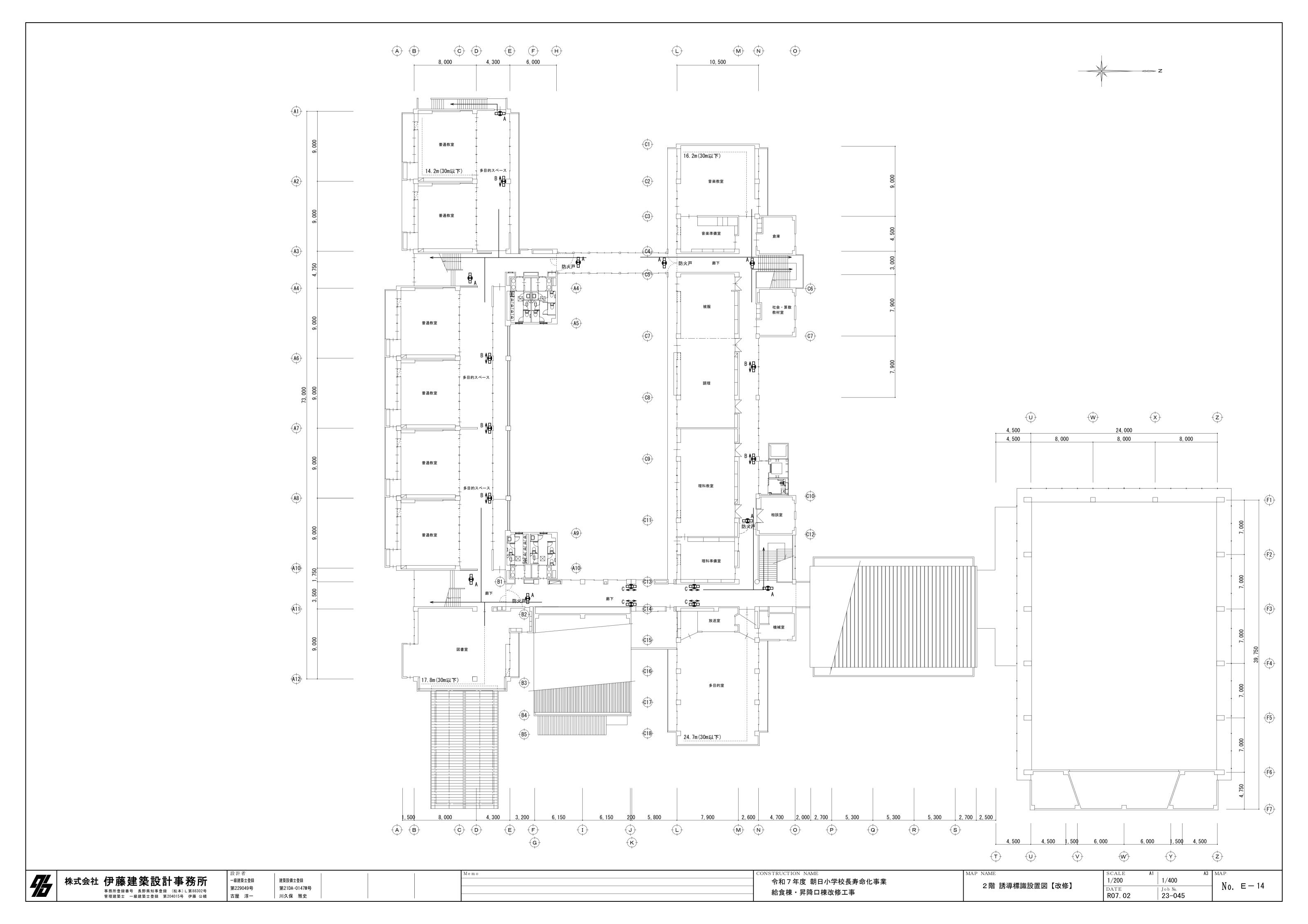


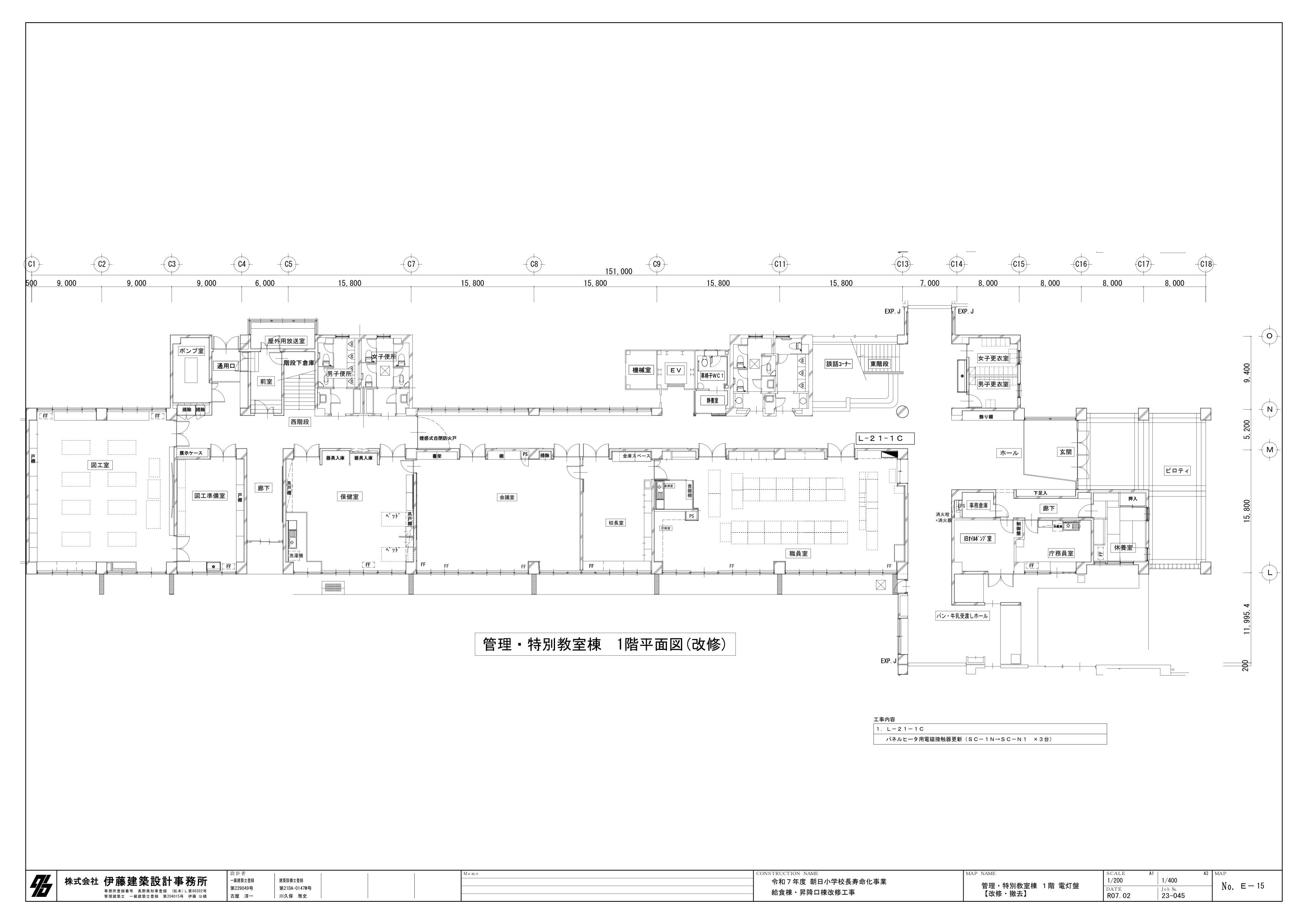
古屋 淳一 川久保 雅史

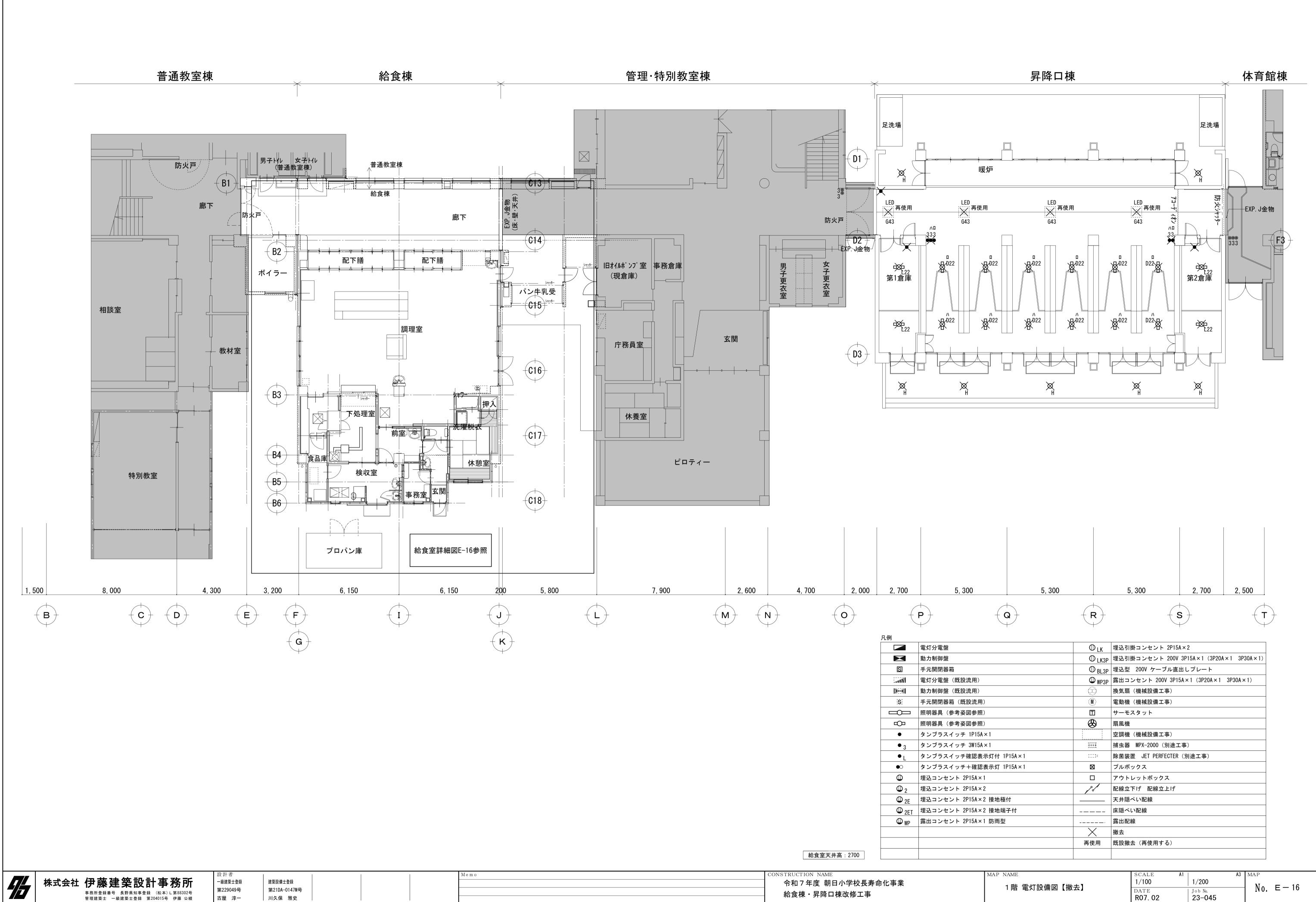
給食棟・昇降口棟改修工事

Job No. 23-045





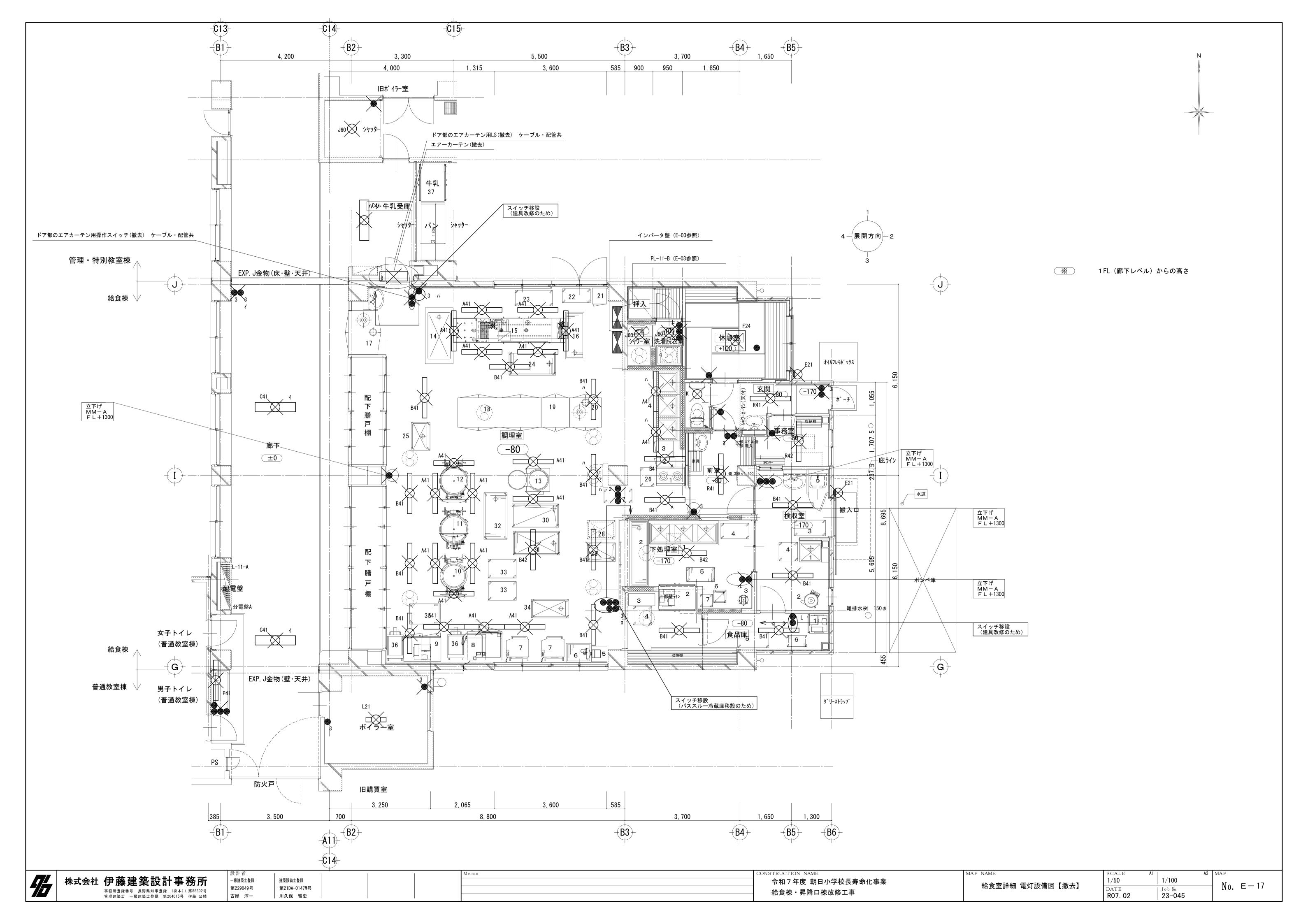


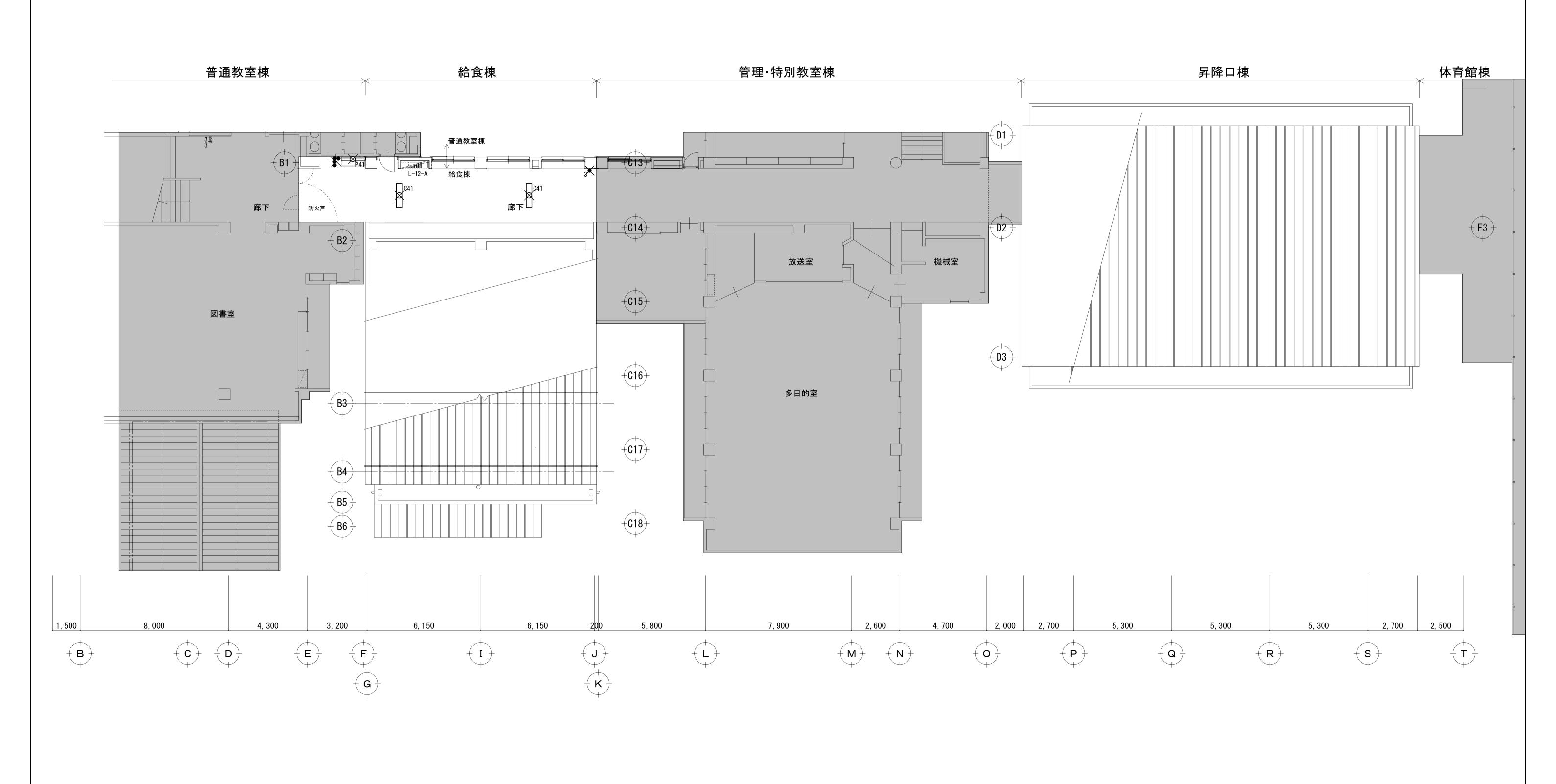


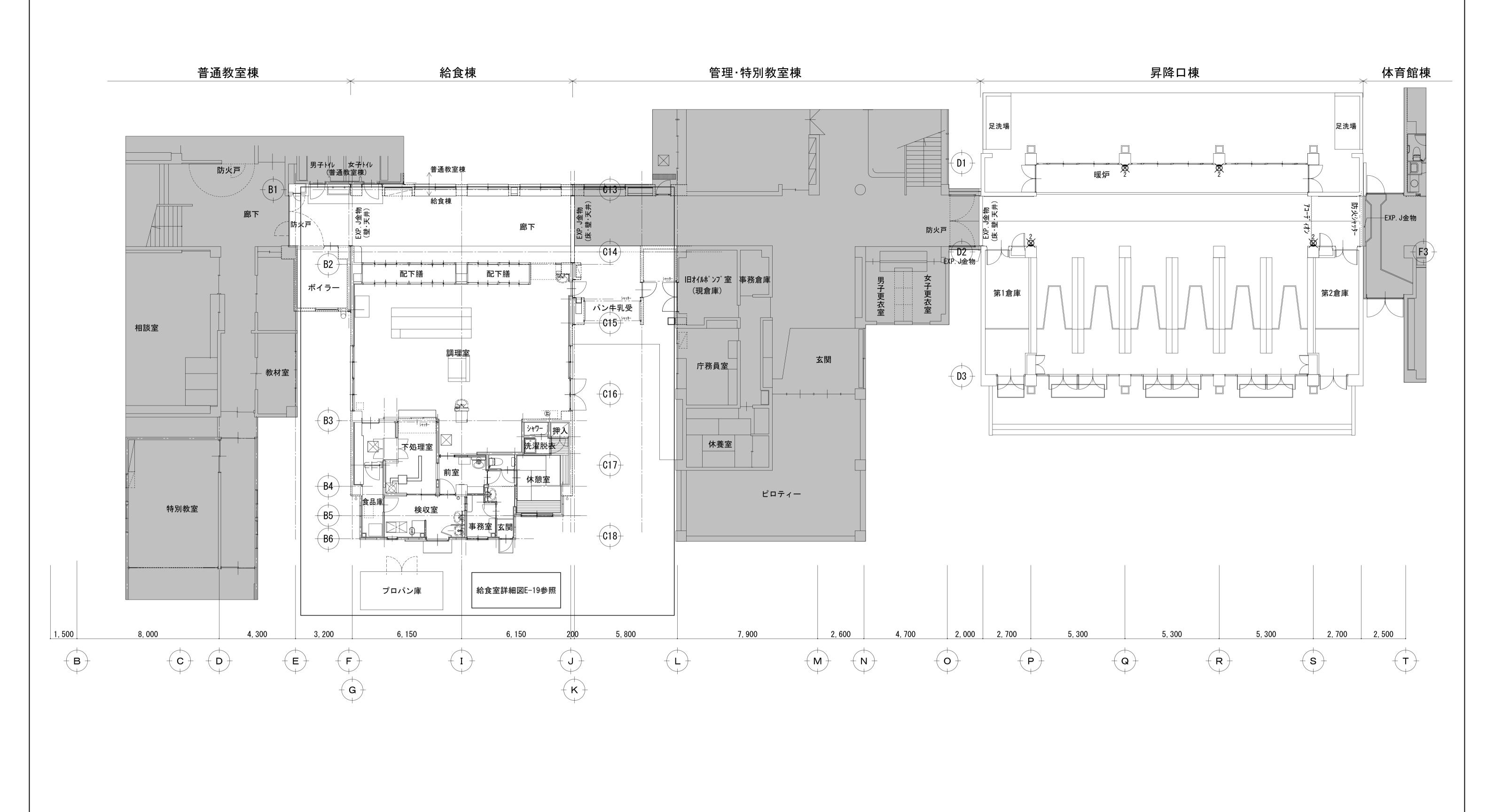
古屋 淳一 川久保 雅史

給食棟・昇降口棟改修工事

Job No. 23-045







給食室天井高:2700

株式会社 伊藤建築設計事務所 事務所登録番号 長野県知事登録 (松本)L第88302号 管理建築士 一級建築士登録 第204015号 伊藤 公績

一級建築士登録 第229049号 古屋 淳一 川久保 雅史

建築設備士登録

第21DA-0147M号

CONSTRUCTION NAME 給食棟・昇降口棟改修工事

令和7年度 朝日小学校長寿命化事業

NAME
1 階 動力・コンセント設備図【撤去】 DATE R07.02

1/200  $N_0$ . E - 19Job No. 23-045

